

第 1 1 回あわら市子ども・子育て会議録

1 日 時：平成 3 0 年 2 月 2 3 日（金） 1 9 時 3 0 分～ 2 1 時 0 0 分

2 場 所：あわら市役所 2 階 2 0 3 会議室

3 出席者

（ 1 ）委員（敬称略）

森俊之（会長）、浅野壽恵（副会長）、五十嵐美根子、竹内浩美、
久保敏江、木村英幸、木谷眞知子、先川原八千代、塚田美紀子
欠席者 野村等、出店周学

（ 2 ）事務局

《子育て支援課》

大代典子課長、井口清美児童福祉 G L、山本昌明子育て支援 G L、
井上堯之主事

4 議題

（ 1 ）子ども・子育て支援事業計画（平成 2 7 ～ 3 1 年度）の中間見直しについて（資料 1 ）

（ 2 ）平成 3 0 年度 新規入園者受付状況報告（資料 2 ）

（ 3 ）その他

5 決定事項

子ども・子育て支援事業計画（平成 2 7 ～ 3 1 年度）の中間見直し（案）について承認を得た。

平成 3 0 年 8 月頃に入園選考基準見直し案を当会議で諮る。

6 会議の経過

事務局 （開会あいさつ）

（会議の趣旨について説明）

事務局 議事進行は、あわら市子ども・子育て会議条例第 5 条に基づき、森
会長にお願いしたい。

議長（会長）次第に従い、議題 子ども・子育て支援事業計画（平成 2 7 ～
3 1 年度）の中間見直し（案）について、事務局より説明してく
ださい。

事務局 【資料 1 に基づき説明】

No.	中間見直しが必要な事業	理由
1	延長保育事業	当初見込みより実績が10%以上上回っているため
2	一時預かり事業	当初見込みより実績が10%以上上回っているため
3	病児・病後児保育事業	当初見込みより実績が10%以上下回っているため
4	放課後子どもクラブ事業	当初見込みより実績が10%以上上回っているため

久保委員 見込と実績がここまで大きく乖離しているのは、保護者の共働きが進んでいることが影響しているのか。

事務局 そのことに加え、当該事業計画策定のために実施したニーズ調査(平成25年12月実施)において、平成27年度以降の長期的な利用頻度の見通しを立てることが保護者にとって困難だったとも考えられる。特に放課後子どもクラブ事業(以下、学童)は右肩上がりで需要が伸びている。

木谷委員 延長保育事業には、標準時間保育の延長保育に加え、短時間保育のそれも含まれるのか。

事務局 含んでいる。

五十嵐委員 見込に対して設定する確保内容の算出根拠は何か。各施設の職員配置等は考慮されているのか。

事務局 職員の負担は考慮していない。在籍児童全員が延長保育を1時間利用した場合でも対応可能と考えている。

副会長 延長保育に伴う職員の残業手当等はあるのか。

事務局 ある。延長保育を実施している私立園に対して、実績に応じた補助金を市から交付している。

木谷委員 北潟こども園においては、利用が少ない上に、延長保育に対応できるようシフト体制(早番・遅番)をとっているため、残業が発生しにくい。ただ、今後利用が増えてくると対策を検討しなくてはならないだろう。

五十嵐委員 いちひめこども園においても、延長保育の利用は少ないが、ニーズが急激に増えると職員の確保が難しい時間帯がある。今のところは問題ない。

学童においても同様の課題があるだろう。

事務局 ご指摘のとおり、支援員の確保には苦労している。

先川原委員 金津小学校区内では2カ所で学童を行っているのか。

事務局 場所は離れてしまうが、都合上、旧金津幼稚園と中央公民館の2カ所で実施している。

議長 他に疑義も無いようなので、子ども・子育て支援事業計画（平成 27～31 年度）の中間見直し（案）については審議した結果、これを承認する。

続きまして、平成 30 年度 新規入園者受付状況報告（資料 2）について、事務局より説明してください。

事務局 【資料 2 に基づき説明】

竹内委員 園によっては充足率 100%を超えていることに問題ないのか。

事務局 定員に対してではなく、利用児童に対して職員を配置しているので問題ない。面積の基準も満たしている。

会長 定員の関係で校区外の園に通うことはあるのか？

事務局 希望の園に入れないことはもちろんあるが、校区外の園に通うことは今のところ無い。

こども園に入園する児童が低年齢化傾向にあるが、各園ではどうか？

五十嵐委員 保護者の育休の関係もあり、0 歳児の途中入園が増えている。

木谷委員 育休が取得できないことから、生後 57 日で入園させる保護者もいる。

議長 議題（3）その他に移る。

事務局 入園選考について、現在は、当会議で定めた優先利用の項目に多く該当する児童が、優先的に入園できる加点方式を採用している。しかし、運用上、同点数で並ぶ児童が多く発生しており、審査に苦慮している。ついては、

申込児童を確実に各園に振り分けることができるもの

あわら市において待機児童はいないため、第 1 希望の園に入園できるかどうかを判断する要素を盛り込んだもの

上記 2 点を考慮して作成した事務局案を次回会議で諮りたい。周知の都合上 8 月頃に開催できたらと考えている。

議長 今後の進め方としては、8 月頃に新選考案を会議で諮る。

これをもちまして、第 10 回子ども・子育て会議を閉会します。